

2009年3月期決算説明会

2009年4月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

リースの、
そのつぎへ

目 次

1. 2009年3月期実績報告

- 業績概要
- 事業別売上高・売上総利益
- 事業別契約実行高
- 機種別賃貸事業契約実行高
- 事業別営業資産残高
- 不良債権の状況
- 資金調達の状況

2. 第3次中期計画の進捗状況

- 第3次中期計画の概要
- 2009年3月期の経営環境
- 各事業ドメインの成果
- (株)リサ・パートナーズとの業務資本提携
- 経営機能強化戦略
- ガバナンス、CSR強化策

3. 2010年3月期計画

- 業績予想
- 配当予想

1. 2009年3月期実績報告

■業績概要(連結)

(単位:億円)

	2008/3期	2009/3期	前年比
売上高	2,641	2,610	-1.2%
経常利益	59	34	-43.2%
当期純利益	39	△38	—
1株当たり当期純利益	183円 25銭	△176円75銭	—
営業資産残高	7,093	6,627	-6.6%
純資産	620	564	-9.0%
自己資本比率	7.9%	7.5%	—
1株当たり配当金	44円 00銭	44円 00銭	—

1. 2009年3月期実績報告

■ 事業別売上高・売上総利益(連結)

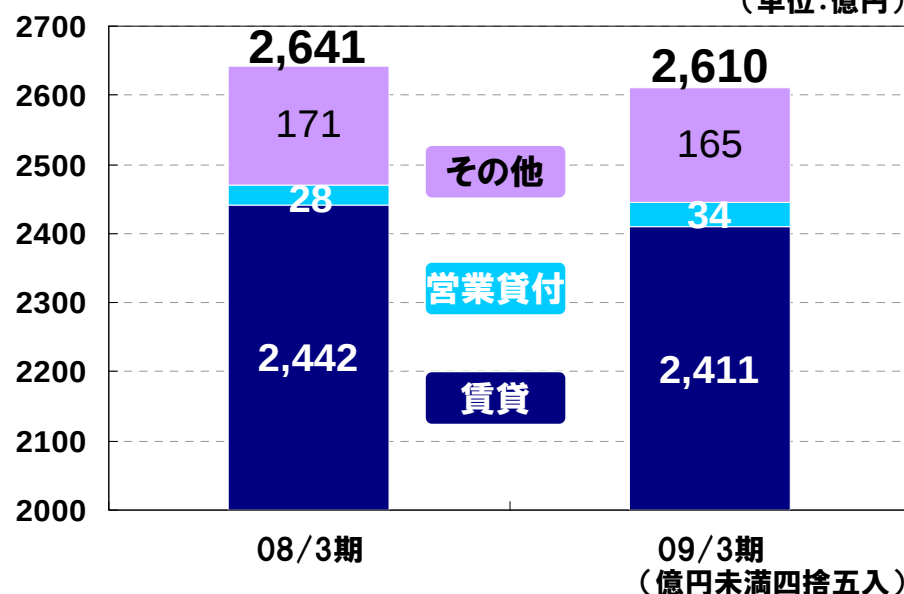
(単位:億円)

	2008/3期				2009/3期				前年増減	
	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上総利益
賃貸事業	2,442	2,254	58	130	2,411	2,190	70	151	-31	21
営業貸付事業	28	0	6	21	34	0	7	26	6	5
その他事業	171	133	1	37	165	138	2	26	-6	-11
合 計	2,641	2,388	65	188	2,610	2,328	79	203	-31	15

(億円未満四捨五入)

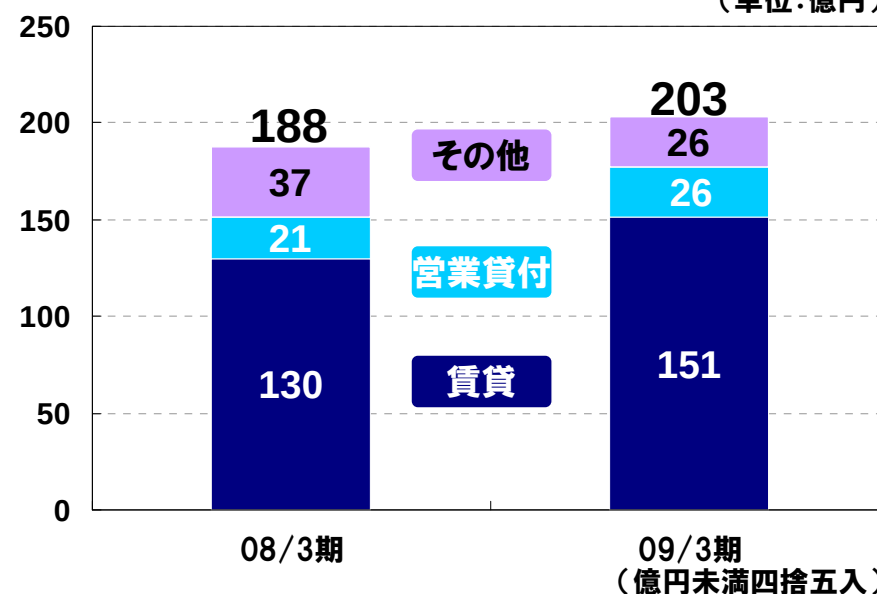
□ 事業別売上高

(単位:億円)



□ 事業別売上総利益

(単位:億円)



1. 2009年3月期実績報告

■ 事業別契約実行高(連結)

(単位:億円)

	2008/3期	2009/3期		
			前年増減	%
賃貸事業	2,296	2,080	-216	-9.4
営業貸付事業	3,097	3,113	16	0.5
割賦販売	174	139	-35	-20.3
営業貸付金	2,923	2,974	51	1.7
その他事業	24	22	-2	-7.6
合 計	5,417	5,214	-202	-3.7

(億円未満四捨五入)

1. 2009年3月期実績報告

■ 機種別賃貸事業契約実行高(連結)

(単位:億円)

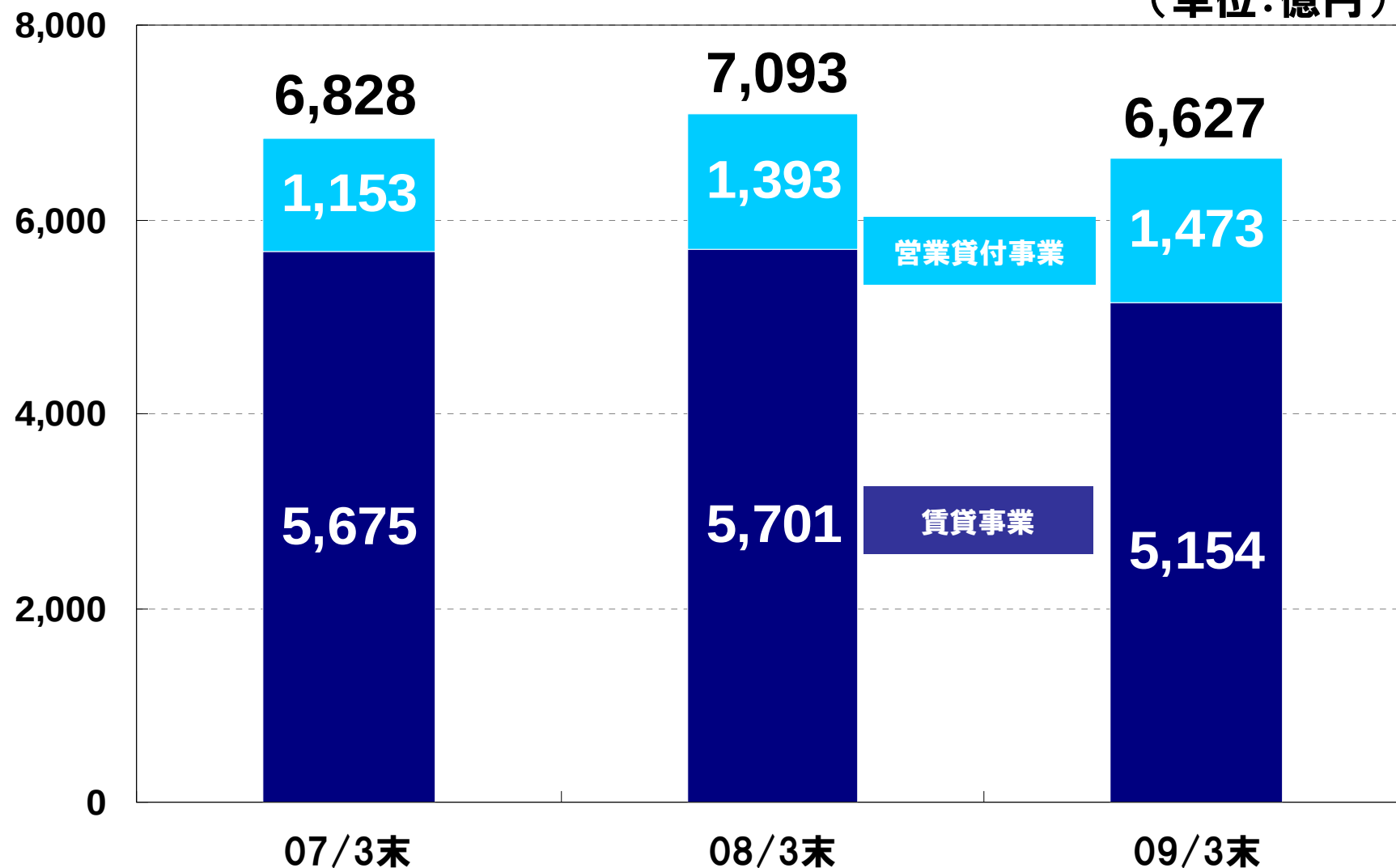
	2008/3期	2009/3期		
			前年増減	%
情報通信機器	1,722	1,661	-61	-3.5
電子計算機及び関連装置	809	704	-105	-13.0
ソフトウェア	808	812	5	0.6
通信機器及び関連装置	105	145	40	37.7
事務用機器	205	173	-31	-15.2
その他機器	369	245	-124	-33.6
合 計	2,296	2,080	-216	-9.4

(億円未満四捨五入)

1. 2009年3月期実績報告

■ 事業別営業資産残高(連結)

(単位:億円)



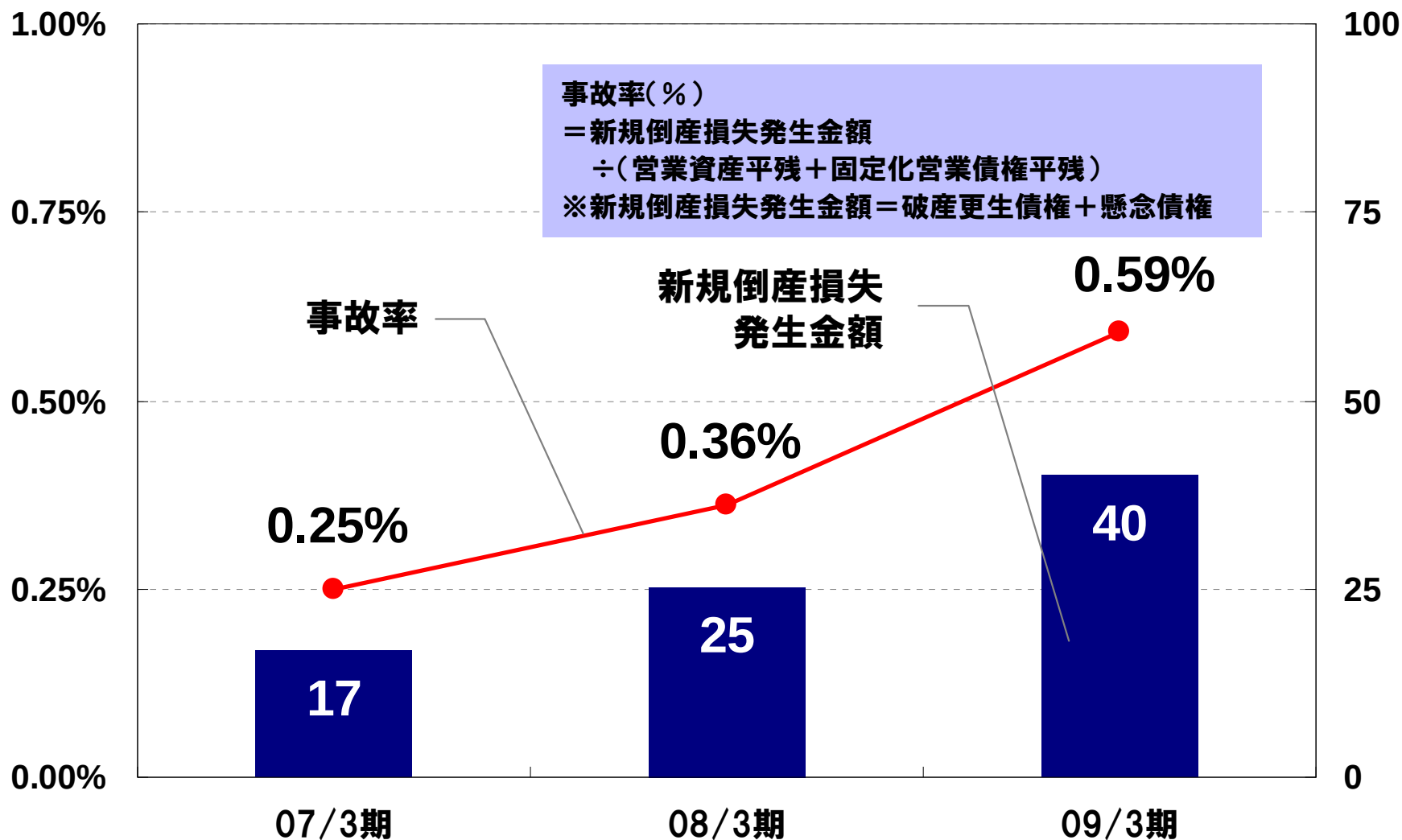
※07年3月期の数字は単体のもの。

(億円未満四捨五入)

1. 2009年3月期実績報告

■ 不良債権の状況(連結)

(単位:億円)



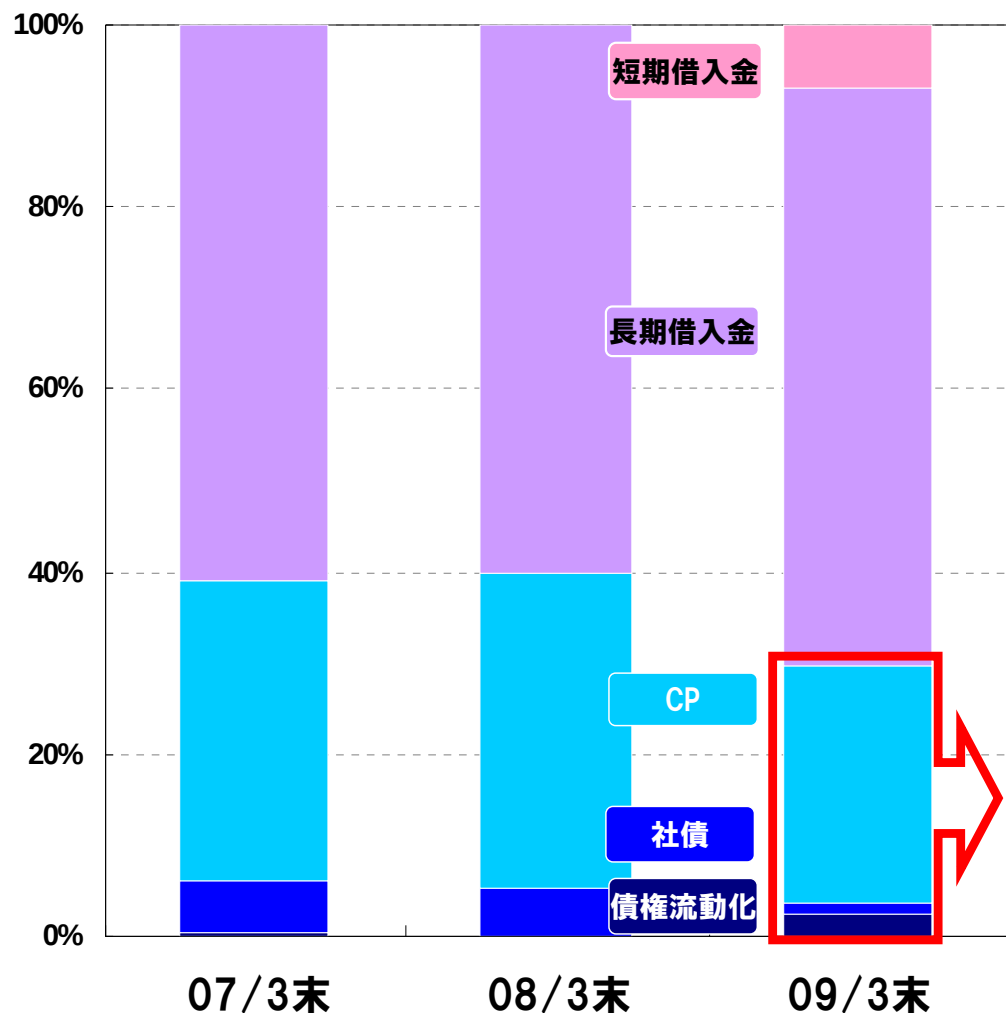
(億円未満四捨五入)

※07年3月期の数字は単体のもの。

1. 2009年3月期実績報告

■ 資金調達状況(連結)

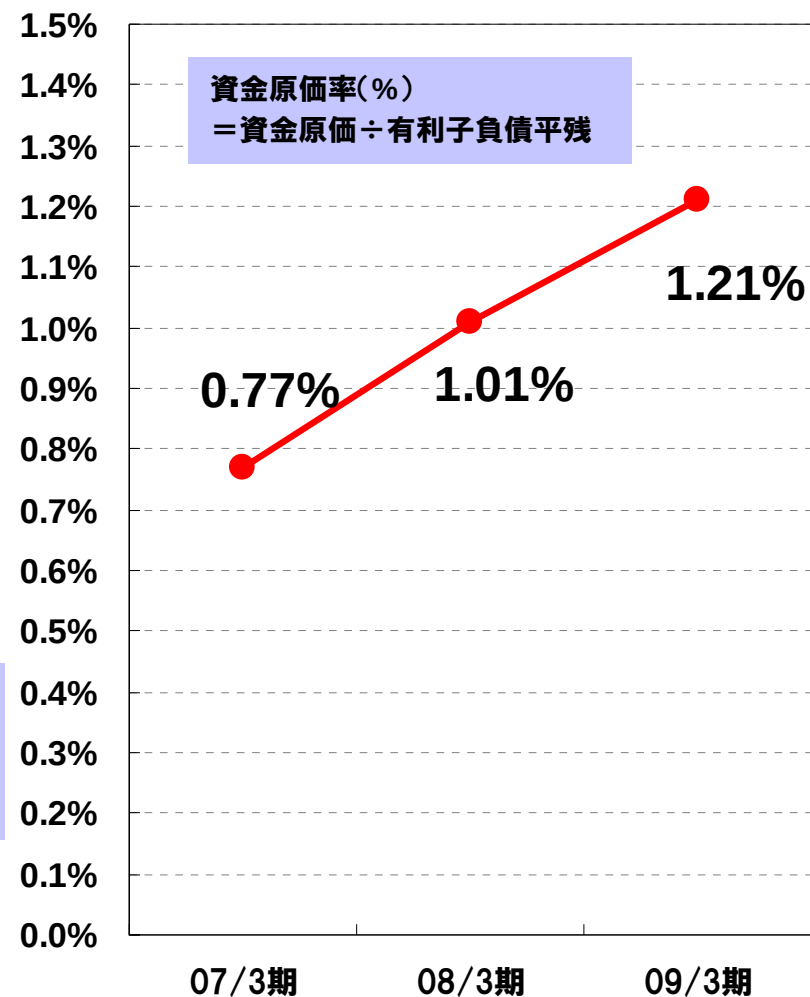
□ 有利子負債構成比



※07年3月期の数字は単体のもの。

直接調達
比率
29.8%

□ 資金原価率



資金原価率(%)
= 資金原価 ÷ 有利子負債平残

2. 第3次中期計画の進捗状況

■ 第3次中期計画(2008年3月発表)の概要

- － リース会計基準・税制度の変更
- － 業界再編の加速
- － 金利の上昇のインパクト
- － 収益面での出遅れ



第2次中期計画を打ち切り、急速な変化に対応し、新たな成長を目指す第3次中期計画を前倒して策定

第3次中期計画の遂行による事業基盤再構築

□事業ドメイン

注力事業

金融ソリューション

資産ソリューション

既存事業

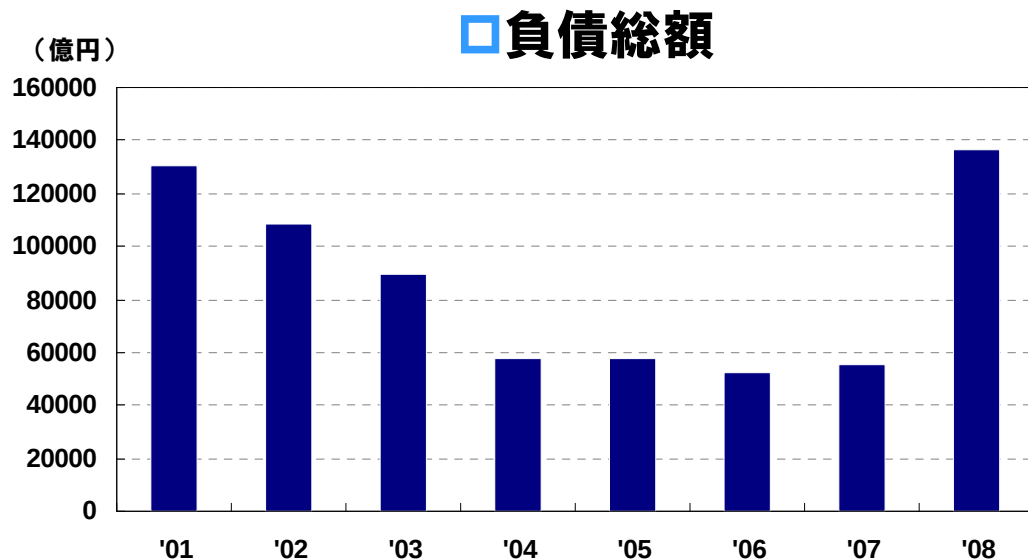
ベンダーソリューション

2. 第3次中期計画の進捗状況

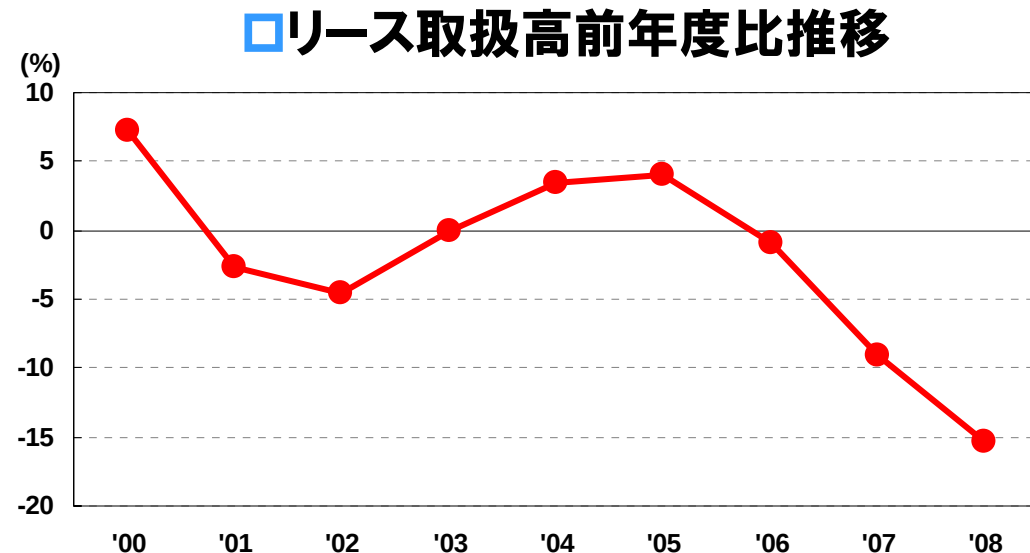
■ 2009年3月期の経営環境

- － リース会計基準変更の適用開始
- － リーマンショック以降の急速な経済危機・景気後退

- 設備投資の減少
- リース取扱高の減少
- 貸倒の増加
- 金融市場の混乱



（帝国データバンクHP:倒産集計より、法的整理分を使用）



（リース事業協会:リース統計より、08年度は累計を使用）

2. 第3次中期計画の進捗状況

■ 各事業ドメインの成果

金融ソリューション

- ABLなどファイナンス事業の本格化
- (株)リサ・パートナーズとの業務資本提携

資産ソリューション

- リブートテクノロジーサービス(株)の設立(4月)、営業開始(11月)
- NECグループのサービス化の流れを活用した新たなファイナンスビジネスの開拓

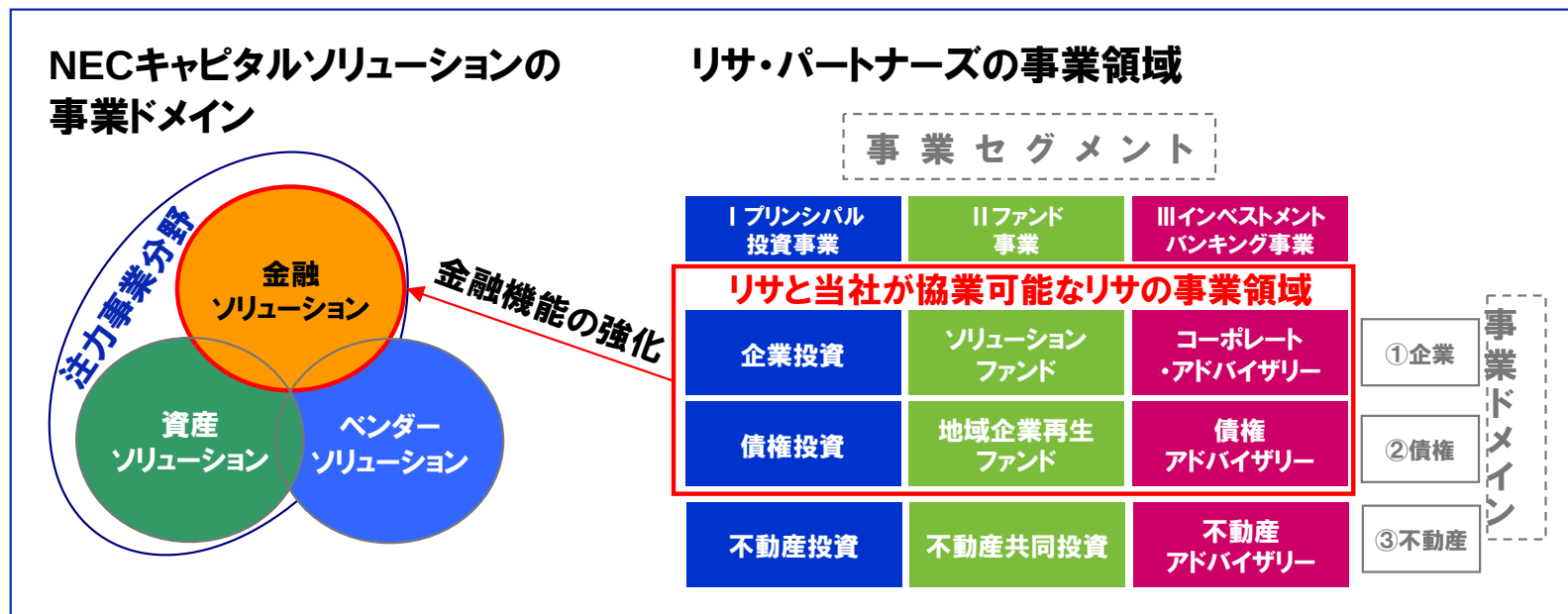
ベンダーソリューション

- リース契約実行高の他社対比健闘
- SMARTプロジェクトによるOHR改善

2. 第3次中期計画の進捗状況

金融ソリューション

- ・ (株)リサ・パートナーズとの業務資本提携
 - － 持分法適用も視野に入れた第三者割当増資の引受(40億円)
 - － お互いの強みをクロスセルすることによる新たな事業モデルの構築



金融Sの成長をさらに加速

2. 第3次中期計画の進捗状況

■ 経営機能強化戦略

- システム開発プロジェクトの推進
 - ・IFRS対応も視野に入れた開発検討
- SMART(事務効率化)プロジェクトの更なる推進
 - ・従来より更に一步踏み込んだOHRの戦略的改善
- 人事部の設立(H21年4月)
 - ・リソースマネジメントの強化、拡充
- リスクマネジメント室機能強化
 - ・喫緊の課題であるBSリスクへの対応強化

■ ガバナンス、CSR強化策

- 日本版SOX法対応
 - ・J-SOX体制の構築・強化によるモニタリング強化
- オペレーショナルリスクへの対応
 - ・J-SOX体制の枠では漏れてしまう各種リスクへの対応
- CSR活動の推進
 - ・環境推進部と発展的統合を行い、各種社会貢献活動の推進

3. 2010年3月期計画

■ 業績予想(連結)

(単位:億円)

	2009/3期 (実績)	2010/3期	
		(予想)	前年比
売上高	2,610	2,430	-6.9%
経常利益	34	60	78.5%
当期純利益	△38	36	—
1株当たり当期純利益	△176円75銭	167円18銭	—

(億円未満四捨五入)

3. 2010年3月期計画

■ 配当予想(連結)

□ 1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2010年3月期予想 (2009年4月28日公表)	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2009年3月期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。